

《9》 〈インタビュー〉 市民の力を活用した地域での子育て支援 横浜子育てサポートシステムを通じた取組

「横浜子育てサポートシステム」は、子どもを預かってほしい人と子どもを預かる人に会員登録（利用会員・提供会員）していただき、条件の合う近隣の方との出合いをサポートする事業で、人々とのつながりを広げ、地域ぐるみでの子育て支援を目指すのですが、本日はこの事業のコーディネーターをされているお二人にお話を伺いたいと思います。初めに自己紹介をお願いします。

【木村】緑区支部の木村です。平成14年からこの事業を担当し、平成19年からはコーディネーターとして関わらせていただいています。今では市内で1万人以上の方が会員になっていて、制度として発展してきていると感じていますし、地域の中で必要とされる事業であることを日々感じて仕事をしています。

【長島】都筑区支部の長島です。平成23年から子育てサポートシステムの拠点移管を

機に事業担当になりました。当時は、子育て支援拠点のことも子育てサポートシステムのことも真つ新たな状態でしたが、事業に関わり、コーディネーターをしていく中で、地域の中で市民と市民をつなげるという大切な役割や、地域ぐるみで子育てを温かく見守っていけるというこの事業の意義というものを強く感じています。

■地域子育て支援拠点の二つの機能として

特に、この子育てサポートシステムの事業は、地域子育て支援拠点（以下「拠点」という。）の七つの機能のうちの一つということで、拠点の機能が運動する中で、この子育てサポートシステムの役割をより果たせているというところがあると思います。少し事例などを教えていただけますか。

【長島】一つの事例ですが、

利用会員の方から電話で「体調が思わしくないとときに子どもを預かってほしい」という依頼がありました。利用会員の方の声のトーンや話し方の様子が気になりつつ、依頼を受け、利用者支援事業（※）の担当者とその様子を共有し、区役所にも報告をしました。区役所でも見守りの親子であることが分かり、区役所と共に親子を見守る体制を整えることになりました。利用会員に寄り添っていただけそうな提供会員にお願いしてサポートにつながりましたし、子育てサポートシステムの利用をきっかけに地域の子育てサロンなどにもつながり、地域で見守る体制ができました。

拠点の他の事業とのつながりということでは、利用者支援事業が一番多いのでしょうか。

【長島】そうですね。まずは、利用者支援事業と連携をとって、その上で区役所に相談させていただくということが多

いです。また、拠点のひろばでも、子育てに疲れている様子だったり、リフレッシュが必要だなと感じるときは、「子サポ（子育てサポートシステム）を、使ってみたら？」と声をかけることもあり、ひろばとの連携も大切に行っています。

この事業が拠点にあるからこそ、ひろば利用の親子をつなげることができそうですし、相談や利用がしやすいように感じます。ひろばのような場につながっていくということはお母さんたちにとってもハードルが低いのではないかと思います。

【木村】以前のことで、子育てをしながら働いていて他に頼れる方がいないお母さんから、お子さんの保育園のお迎えと預かりのサポートをしてほしいという依頼がありました。しかし、その方の住まいの地域で提供会員さんを見つけれなくて、緑区社協に、地域の方（地区社協の

木村 真佐子

緑区地域子育て支援拠点いっほ
横浜子育てサポートシステム緑区支部事務局コーディネーター



長島 真美

都筑区地域子育て支援拠点Opolla（ホボラ）
横浜子育てサポートシステム都筑区支部事務局コーディネーター



聞き手

こども青少年局子育て支援課

ボランティア)のお力を借り

ることができないか相談をさせていただきました。そして、民生委員の方たちがお話を聞いていただけるのとこと直

接お会いしてご相談をしまし。そのときはちょっと難しいのかなという印象だったのですが、その後、いろいろ考えていただいたようで、後日お返事をいただき、民生委員の方が準備を進めていた「子ども食堂」の場を使って手助けをしてくれることになりました。

拠点の中だけの限られた環境の中だけでは、なかなかその方を支えることができなかったと思いますし、地域でその親子を見守っていた

ける場所ができてよかったです。思いました。そのお母さんが一生懸命に子育てでも仕事もしているということを理解して

くださり、お母さんもすごく安心して馴染んでいます。地域で支えてもらえるというこ

と、改めて目の当たりにでき

と意思します。

■心がけていること

—— さて、コーディネーターに当たっては、単に曜日や時間、移動時間などの活動の条件が合っているというだけではなく、やはり丁寧なコー

ディネーターが求められると思います。心がけていることなどを

【木村】やはり利用会員の方

が何を望んでいるのかをよく聞き取ることを大切にしています。その方のお子さんに

【長島】私もやはりそれぞれのお話を丁寧に聞き取って、それぞれの立場を尊重しながらつなげていくというのが、

したい」という依頼がありました。受けていただいた提供

会員の方から後日「自分は本

当に困っている親子のために役立ちたいと思って提供会

員になりました。福利厚生で

【木村】この制度は地域での

【木村】近所の公園でよく子どもがたくさん遊んで

【木村】近所の子に意識

がりを感じ、息の長いおつき合いになっていく。その良さを伝える

■地域の中で

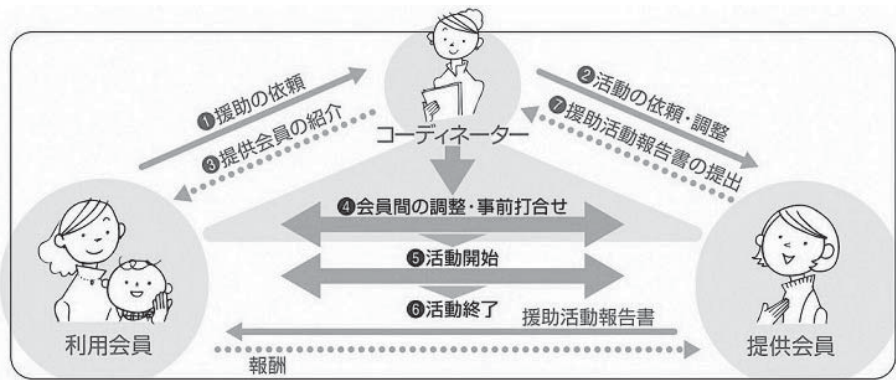
—— 今は少子化で、子どもが親以外で接する

【木村】近所の公園でよく子どもがたくさん遊んで

【木村】近所の子に意識

【木村】近所の子に意識

【木村】近所の子に意識



を向けてくれる、そういう大人がたくさんいればいるほど、そのお子さんは地域で見守られていることになりま

【木村】近所の子に意識

分の子どものことだから自分で一生懸命頑張ろうと思っただけで、皆さん子育てをしていると思っただけで、「もつと周りに頼っていいんだよ」ということを知ってもらいたい。周りに頼ってもそれは決して悪いことではない。自分にもお子さんにとっても、そういうことは大切なことなんだということをもっと知ってもらいたいなというふうにも思っています。

【長島】子育てサポートシステムでの話ではありませんが、地域の方から「小さい頃からその子を知っていたら、大きくなってからも気軽に声をかけられるのよ。」と伺ったことがあります。地域の子どもの育ちを地域で見守る、子どもが成長しても声をかけ合える、そんな「温かいまち」になればいいなと思っています。親以外の地域の大人と関わることで、子育てサポートシステムは、その一環を担う事業ではないかと思っています。

■子育てサポートの関係から人と人とのつながりへ

—— この事業を通じた関係から、活動をしていないとき、あるいは活動が終了した後も



つながりが続いていくというのが、この子育てサポートシステムの目指すところでもあります。何かエピソードをお聞かせいただければと思います。

【長島】5、6年前の話ですが、利用会員の方のご実家は遠くで第二子を妊娠中。上のお子さんの保育園のサポート、送迎をお願いしたいという依頼があり、近隣の提供会員の方に引き受けていただきました。その方には親子を温かく見守っていただいて、利用会員の方から第二子出産後も下のお子さんも預かってほしいと依頼があり、長くサポートをしてもらっていました。ご

家族も含めて親しくなられて、利用会員の方も本当に横浜の母さんのように思い、サポートが終わった後も母の日はカーネーションを贈ったり、一緒にお昼を食べたりと、本当にいい関係が続いていました。その後、提供会員の方が体調を崩されて、お亡くなりになりました。事務局へもご家族からご連絡をいただき、「子サポの活動は本当に生きがいだ、すごく楽しかった」といつも話していましたが、「と伺い、私たちが本当にうれしく思いました。利用会員の方もお別れに來られたと伺いました。」

その後、その提供会員の方の妹さんが見えなくなり「以前から姉に子サポの活動はすごいよ。あなたもやればいいのよ」と声をかけてもらっていたと、「やってみようと思います」と話してくれました。提供会員に登録してください、今、都筑区で活躍してください。提供会員であったお姉さんは、予定者研修会で実際の活動についてお話をしていたこと、普通にご生活していたら出会えない親子に出会って、小さなお子さんを預かっていたら、本当に素敵な活動で

迷っているのなら、やってみたらいいですよ！」と力強くお話をしてくださいました。提供会員さんと利用会員のいい関係を築かれ、心温まるお話を伺うと私たちもうれしいです。「子育てサポートシステム」という市民活動を通して、地域で子育てを見守る、やさしいまちづくりができたと思います。

【木村】提供会員の方からは、あるとき、「おばちゃん」って遠くから小学校5年生か6年生ぐらいの男の子に声をかけられて誰かと思ったら、小さかった頃に預かったことのあるお子さんだったそうで、そのときのことを覚えてくれているんだなとすごくうれしかったとか、サポートでご紹介した利用会員のご家族とすごく仲良くなって、一緒に野球をテレビで見たり、家族ぐるみにつき合ひになって、「遠くの親戚より近くの他人だわ」と思っていますというお話を伺ったりします。

また、自分が体調が悪くなったり、お子さんをどうしたらいいのか不安な利用会員の方に提供会員を紹介したことがあります。その方から後日、「幸いあれからは元気に過ごして利用することとはなかったけれども、何かのときにはその人をお願いできるって思ったので、それを支えに子育てすることができました」という連絡をいただいたこともありです。

サポートで巡り合う会員同士のご縁を、出会った後、会員同士で育んでつながっていくことがこの制度の目指すところで、その一つひとつのきっかけづくりのお手伝いできてうれしく思っています。

—— コーディネーターの方がいろいろ考えてご案内しているところ、やっぱり横浜の子育てサポートシステムの強みなんだと改めて感じました。私たちが一緒にやっていたいと思います。本日はありがとうございます。

※利用者支援事業
地域子育て支援拠点の7つの機能のうちの一つ。拠点に配置された専門スタッフが親自身、家族関係、貧困等の多岐にわたる相談に対応し、関係機関への紹介・仲介、連携支援等を行う。